

個人情報漏えいに関するお詫びと報告

2025.08.29

吉備高原医療リハビリテーションセンター（以下、「当センター」という。）において、下記のとおり個人情報を漏えいさせる事案が2件発生しました。患者様をはじめ関係者の皆様におかれましては、多大なご迷惑とご心配をおかけする事態になりましたことを心よりお詫び申し上げます。今回の事態を重く受け止め、個人情報の取り扱いに係る適切な管理を徹底し、再発防止に努めてまいります。

記

【事案1 患者情報について、別の患者様に知られた】

1 事案の概要

本来知るはずのない患者情報について、別の患者様が知っており、情報の出所が病院職員であると疑われるもの

2 漏えいした個人情報

患者氏名、病状に関する情報

3 発生原因

当センター理学療法士の個人情報の取り扱いに関する認識不足と疑われる。

4 再発防止対策

- (1) 個人情報の守秘義務の再認識を促し、業務中の患者様との会話における最近発生した事例などをあげ、改めて周知徹底を図る。
- (2) 個人情報を取り扱うための注意点を含め、職員全体向け研修を行う。

【事案2 健康診断受診者の受診票を紛失した】

1 事案の概要

当センター医事課員が受け取った健康診断受診者の受診票を紛失した事案

2 漏えいした個人情報

患者氏名、生年月日、性別、患者 ID、年齢、受診日、団体名、健診項目計測結果

3 発生原因

必要な書類と不要な書類の仕分け作業の際、ダブルチェック等確認不足のままシュレ

ッダー作業を行ったため。

4 再発防止対策

- (1) 新たに健康診断手順書・チェックリストを作成し、診断終了時に医事課計算窓口で受け取った書類をチェックリストにより確認することを徹底する。
- (2) 健康診断の処理終了まで書類を確実に保存することとし、新たに医事課のシュレッダー作業に関する手順書を作成し、シュレッダー作業については、保管すべき書類が紛れていないか複数の職員で確認した上で実施することを徹底する。
- (3) 個人情報を取り扱うための注意点を含め、職員全体向け研修を行うこととしている。

令和7年8月

吉備高原医療リハビリテーションセンター

院長 古澤 一成